

(様式第3-2号)

業 務 等 質 問 回 答 書 (企画提案について)

提出日：令和8年8月20日

発 注 機 関 名	長野県福祉大学校	公 告 日	令和8年7月15日
業 務 名 業 務 箇 所 名	長野県福祉大学校ホームページ改修業務		
質 問 内 容	1. 学校行事への参加促進について 仕様書では、本業務の目的として「志願者の増加や学校行事への参加増加につなげる」とありますが、ここで想定されている「学校行事」とは、オープンキャンパス等の入学希望者向け行事を指すのか、在校生向け行事も含むのか、ご教示ください。 また、特に参加促進を課題としている行事や、その背景・現状の課題認識がございましたら、Webサイトのコンテンツおよび導線設計の参考とするため、可能な範囲でご教示ください。 2. Webサイトで特に訴求したい対象について 現在の志願者・入学者に見られる傾向、または今後特に志願を増やしたい層について、Webサイトのターゲット設定上参考となる情報がございましたらご教示ください。 例えば、資格取得・就職への関心、学校生活・学校行事への関心、県内・県外、高校新卒・その他など、特に重視すべき傾向がございましたら、可能な範囲でご教示ください。 3. 現在のホームページ運用で、職員が特に負担・不便を感じている作業 現行ホームページの更新・管理業務について、職員の皆様が特に負担または不便を感じている作業がございましたらご教示ください。 例えば、ページ作成・更新、承認、画像・PDF管理、メニュー変更、過去情報の管理等、今回のCMS導入によって特に改善したい業務がございましたら、可能な範囲でご教示ください。 4. 既存アクセス解析から分かっているユーザー行動 現行ホームページについて、アクセス解析等から把握されている範囲で、アクセスの多いページ、主な流入経路、スマートフォン比率、検索されることの多い情報等がございましたらご教示ください。 また、アクセス状況から特に改善が必要と認識されているページや導線がございましたら、併せてご教示ください。		

回 答	1. 学校行事への参加促進について 学校行事とは、オープンキャンパス、文化祭、卒業記念音楽会など一般公開をしている行事を指しています。 参加促進を期待する行事は、上記3つの行事であり、来校機会や学校行事に触れる機会を増やし、志願に繋げたいと考えています。参考までに、今年度入学者の約85%がオープンキャンパスに参加している状況です。 現状の課題としては、以下を考えています。 ・文化祭、卒業記念音楽会については、トップページ新着情報から該当ページへリンクを貼っているため、行事終了後にトップページの新着情報から外れると、トップページから行事の存在を知る術がない。 ・オープンキャンパスについては、トップページから入ることができるが、参加申込の訴求が弱い。 ・全てのページにおいて、洗練された雰囲気欠缺、立ち寄っただけのユーザーの目には留まりにくい。 2. Webサイトで特に訴求したい対象について 現在、本校への入学者の約9割は県内高校新卒者であり、今後もこれを維持していきたいと考えています。（本校は県立学校として地域社会への貢献を重要な使命としており、卒業後は保育士や介護福祉士として専門性を発揮し、県内の福祉・保育分野を担うリーダー的存在として活躍できる人材の育成を目指しています。） また、入学者を対象としたアンケートから以下の結果が得られています。 ○志願理由 上位3項目 「学費負担が軽い」「保育園が併設されている」 「アットホームな雰囲気」 ○本校を知ったきっかけ 上位3項目 「家族」「高校教諭」「友人」 ※「ホームページ」をきっかけとした者は少数（全体の5.4%） ○情報収集するうえで参考になったもの 上位3項目 「学校パンフレット」「ホームページ」「先輩」 前述を踏まえ、訴求対象は、県内中高生を主とし、今後は、子の進路を検討している保護者も訴求対象のカテゴリーとしたいと考えています。 また、本校は、県立施設であることに鑑み、地域住民等幅広い層への情報発信も大切にしたいと考えています。 3. 現運用で、職員が特に負担・不便を感じている作業について 主に以下の点に不便さを感じています。 ・掲載する画像の選定や加工に苦慮している。 ・画像をLGWNEからインターネットへのデータ移行に手間を要す。
------------	--

- ・デザインやレイアウトの自由度が低く、柔軟な情報発信が難しい。
- ・過去に掲載した記事や画像等の管理・活用に手間がかかる。
- ・目的のページへ円滑に到達できず、必要な情報の検索に時間を要す。
- ・メニューボタンの編集が困難である。
- ・アクセス解析が、学校職員が手元で容易にできない。

今回のCMS導入にあたっては、特に以下の点の改善を期待しています。

- ・画像の登録・掲載作業を簡単かつスムーズに行えること。
- ・画像や過去の記事・コンテンツを効率的に管理できること。
- ・ページごとの目的に応じて、レイアウトやコンテンツ配置を柔軟に設定できること。
- ・ユーザーが目的のページへ容易にたどり着ける導線設計を実現すること。
- ・担当者の知識に左右されず、アクセス解析と改善が容易にできること。

4. 既存アクセス解析から分かっているユーザー行動について

全体的には、受験者向けの情報ページへのアクセスが多い状況です。参考までに、令和7年5月から令和8年6月までの各ページアクセス件数をお示しします。

正確なスマートフォン比率はわかりかねますが、受験生向けの情報ページへのアクセスが多いことから、スマートフォンからのアクセスが多いと予測しています。

改善が必要と考えている事項として、前述の3に加え、入試日程や学校行事の日程に関する情報が、実施日直前にならないと確認できない点が挙げられます。ユーザーが必要な情報に容易にアクセスでき、入試や行事の日程を早い段階で確認できる環境の整備が必要だと考えています。また、詳細情報を掲載する段階に至っていない場合であっても、過去の様子が分かるようなコンテンツに加え、公開予定などの案内を明確に示すことで、利用者が見通しを持って情報収集や準備を進められる環境も必要だと考えています。そのため、担当者個人の対応に依存することなく、計画的かつ継続的な情報発信を促す仕組みを期待しています。